

大会名称: **第72回国民体育大会
愛顔つなぐえひめ国体**

開催場所: **鬼北総合公園体育館 Bコート**

試合区分: **No. 10 少年男子 準決勝**

期 日: **2017(H29)年10月3日(火)**

開始時間: **12:00**

終了時間: **13:30**



主審: **相原 伸康**

第1副審: **那須 弘幸**

第2副審: **橋本 恵一**

福岡 (九州)	○ 62	18 - 13 14 - 16 17 - 16 13 - 13 - - -	● 58	静岡 (東海)
-----------------------	----------------	---	----------------	-----------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	井手 拓実	5	0	2	1	1	1	1
5	*	小野 絢喜	0	0	0	0	2	0	1
6	*	松本 礼太	2	0	1	0	0	2	0
7		松崎 裕樹	0	0	0	0	1	0	0
8		古橋 正義	-	-	-	-	-	-	-
9		永野 聖汰	10	2	1	2	1	4	0
10	*	中崎 圭斗	13	0	5	3	1	8	3
11		中田 嵩基	4	1	0	1	1	1	2
12		横地 聖真	0	0	0	0	1	4	0
13		ディアラ イソフ	0	0	0	0	2	0	0
14		井上 宗一郎	24	0	8	8	0	21	1
15	*	バムアンゲイ ジョナサン	4	0	1	2	3	3	0
HC		井手口 孝 / TEAM							
		合計	62	3	18	17	13	44	8

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		伊東 潤司	3	1	0	0	1	0	0
5	*	松下 裕汰	6	0	3	0	2	7	3
6	*	杉山 裕介	5	0	2	1	4	3	2
7		関屋 心	14	1	3	5	1	4	2
8		高木 卓也	-	-	-	-	-	-	-
9		金井 星也	-	-	-	-	-	-	-
10	*	石川 晴道	6	2	0	0	1	4	1
11		田中 勇樹	5	1	0	2	0	1	0
12		神田 誠仁	0	0	0	0	2	3	0
13		奥村 大翔	4	0	2	0	3	2	0
14	*	ダシルバ ヒサシ	9	1	3	0	0	6	3
15	*	SAMBOU ABACAR MBAYE NDIAYE ANDRE	6	0	3	0	4	5	0
HC		後藤 正規 / TEAM							
		合計	58	6	16	8	18	35	11

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。福岡県は厳しいディフェンスからの速攻で得点を重ねる。開始3分、11-0となったところで静岡県タイムアウト。その後、静岡県は#7がドライブインから得たフリースローを決め、徐々に攻守のペースをつかむ。18-13の福岡県リードで終了。
 第2ピリオド、静岡県はゾーンディフェンスから切り替えの早いランニングプレイで#13が連続得点し逆転に成功。さらに静岡県#11の3Pが決まり、20-25となったところで福岡県タイムアウト。タイムアウト後、福岡県は、インサイドにボールを集め、#14の強力なポストプレイで再逆転に成功する。その後は互いに譲らず、32-29の福岡県リードで前半終了。
 第3ピリオド、開始3分、静岡県はスティールからの速攻で再び逆転に成功するも、福岡県は#10のミドルシュートが決まり逆転。静岡県は#7の3Pなどで粘りを見せ、一進一退の攻防が続く。49-45の福岡県リードで終了。
 第4ピリオド、福岡県は#9のドライブイン、#14のインサイドプレイで連続得点。開始3分、7点差で静岡県タイムアウト。静岡県は#4、#14の連続3Pなどで4点差に詰め寄る。さらに残り2分、#6がドライブインから得たバスケットカウント1ショットを決め、1点差とする。しかし静岡県は福岡県のインサイドプレイを止められず、相手にフリースローを与える。福岡県#10がフリースローを確実に決め、61-58とする。静岡県は早いパス回しから3Pを狙うがリングに嫌われる。最後は62-58で福岡県が静岡県を振り切り、決勝進出を果たした。最後まで心身ともに鍛えられた両チームの気迫が伝わる好ゲームであった。

担当者: 清川 彩(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

